

稲作生産情報第4号（要約）

令和2年6月23日
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

- 生育は概ね平年並ですが、地域によるばらつきが見られます。天候や生育に応じた水管理に努めよう！
- カメムシ被害を防ぐため、地域ぐるみの草刈りをしっかり行おう！

〈生育状況〉

6月19日現在の生育は、津軽及び下北地域で平年並みから平年を下回り、県南では平年を上回った。

〈水管理〉

- 1 温暖な日は3cm程度の浅水にして水温と地温の上昇を図り、気温の低い日は5～6cmのやや深水で保温し、茎数の早期確保に努める。
- 2 「日中止水、夜間かんがい（夕方又は早朝に入水）」の基本を守り、水温の上昇を図る。
- 3 中干しは、1株当たり20本程度の茎数を確保した水田では、天候の良い日に行い、生育遅れの水田や、低温が続く場合には行わない。

〈病虫害防除〉

- 1 斑点米カメムシ類の発生密度を抑制するため、7月中旬までに畦畔（けいはん）や水田周辺の雑草地などの草刈りを地域ぐるみで行う。
- 2 補植用の苗を畦畔（けいはん）や水田内に放置すると、葉いもちの発生源となるので速やかに処分する。



報道機関用提供資料	
担当課 担当者	農林水産部農産園芸課 稲作・畑作振興グループ 総括主幹 腰巡好之
電話番号	直通 017-734-9480 内線 5073
報道監	農林水産部 次長（農商工連携推進監） 赤平次郎 内線 4967